

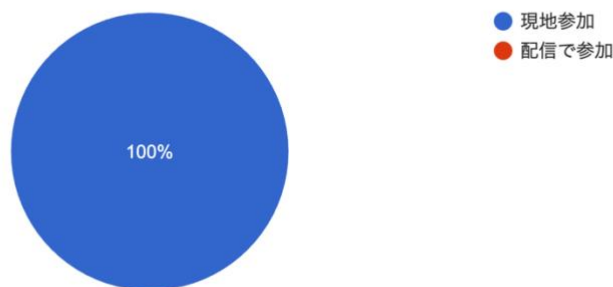
南三陸いのちめぐるまち学会 第2回大会アンケート結果 (12月7日現在)

みなさま、たくさんのご意見をありがとうございました！参加する方々とともに作り、成長する学会を目指しておりますので、こんなにもたくさんの有益なご意見をお寄せ頂いたことに心より感謝申し上げます。

頂いた内容をもとに、毎年進化させていけたらと思っておりますので、是非また来年もご参加下さい！

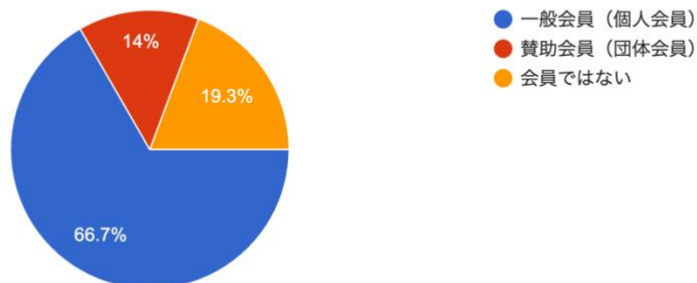
参加形態

57件の回答



会員資格について

57件の回答



南三陸いのちめぐるまち学会を知ったきっかけを教えてください

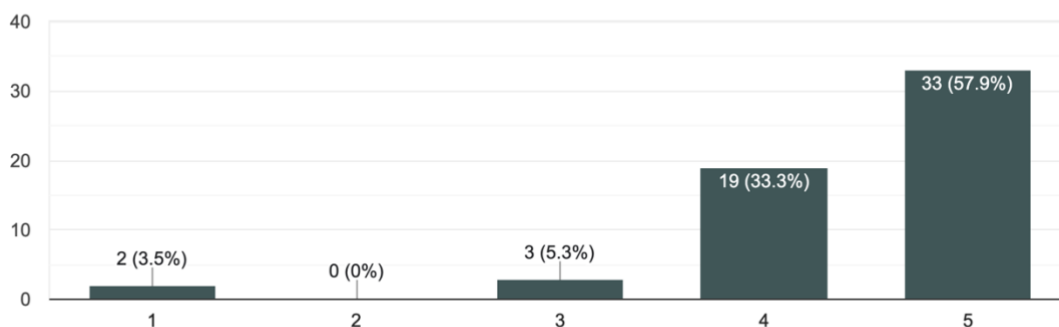
57件の回答



○第2回大会について

第2回大会（11月23日開催）の満足度はどのくらいですか？（5段階評価）

57件の回答



Q.満足度の理由をお答えください

A.

- ・地域経営の観点で、おおいに共感できた。
- ・環境と経済の両立、ひいては自然資本を回復させていく取組みについて、非常に熱量高く取り組む人の話を聞いて有意義でした。
- ・私たちの誇る町内の環境や自然、人々の取り組みがいかに価値があり、貴重で重要なものか、専門家の方々の言葉で聞いて嬉しかった。集まった人たちの熱気、本気度、変態さ加減がすごい！大満足！
- ・多様な主体が参加されていたところ
- ・満足できることを期待して参加して、そのとおりだったから
- ・とても活発な意見交換ができていた様子でよかった
- ・幅広い分野が集まっており、いろんな角度から南三陸を考えられる点
- ・色々な研究者の貴重なお話しが聞けるため
- ・とにかく、面白くて楽しかったです。テーマ選定、対話型のデザイン、国内第一人者級の専門家のお話を一度に聞ける貴重な機会でした。そして何より、研究者に限定されず、地元の一次生産者、事業者や行政も交えての闊達な議論があったことが、非常に良かったと思います。次回も参加します！
- ・地域の皆さんと一緒に勉強できたから。
- ・この町で開催する意義が大きい。
- ・お疲れ様でした。途中までの参加となってしまいましたが、様々な視点と手法で地域や我々の取り組みなどを可視化する機会となって、大変勉強になりました。満足度が5ではなく4なのは、都合により途中からは配信参加に切り替えたのですが、残念ながら音声が悪くなく聞き取れない部分が多々ありましたので、たま

たまの不具合かもしれませんが、今後も広く参加者が増えていくことも想定されるので、音響関係は重要と思います。

- ・内容はとっても充実していたため満足度5でも良いくらいですが、やはりあえて南三陸で開催するならば、現地の人に届くことばをもっと追求しても良いのかも（じゃないと勿体無い!）という期待や可能性を込めて4に留めておきます!
- ・日常では聞くことができない話を聞けたから
- ・入谷で先端を感じる学会が開催されたことは奇跡的なことだだと思います。
- ・地元のみなさんと交流する機会があったことが素晴らしいと思います。
- ・大会自体は有意義でしたが、公民館に大量の車両が集中するのはいかがなものかと思いました。大会の趣旨として現地に還元する思いは理解できますが、開催場所の再考や、仙台、志津川などからシャトルバスを出すなど、環境配慮をしていただけると良いかと思いました。
- ・参加者の多様性
- ・地域として志向している方向性がよく分かった。
- ・とても気持ちが高ぶる大会でした。そして、その気持ちも共有できたのがとても嬉しかったです。
- ・色んな事を考えさせる内容が多かったです。
- ・一流の研究者と交流できるのがいい。
- ・地元の住民が参加しやすい雰囲気でした。町の職員や議員ももう少し参加されてもよいかとも思われました。
- ・講演者として参加しました。たくさんの異分野の研究者や異業種の方と話せたのがよかったです。いりやどでのフリータイムが大事。
- ・久々に知的興奮を味わわせていただきました。南三陸という具体的なフィールドで、環境や人の暮らしを考えることができるので、リアリティーのある学びが深められます。研究者のみなさんのレベルも高くて、私たち一般人にもわかりやすい発表ばかりで素晴らしかったです。地元の住民のみなさんのメが輝いているのを拝見して、心から感動しました。
- ・様々な研究、意見を聞くことができ、とても勉強になった。
- ・仕事の都合で途中抜けてしまいました。残念です。
- ・様々な話を聴くことができ参考になった
- ・研究者、市民がいっしょになり、熱心な議論ができた。
- ・地域住民の方の参画がみえたので
- ・共有される内容と、集まる人の質が素晴らしい。また、それを可能とする楽しい場作りと、交流の工夫が凝らされている。
- ・大変有意義な情報の共有と、地域への思いをもった多様な人々が集まっている。また、そのための場づくりや交流の仕掛けが素晴らしい。

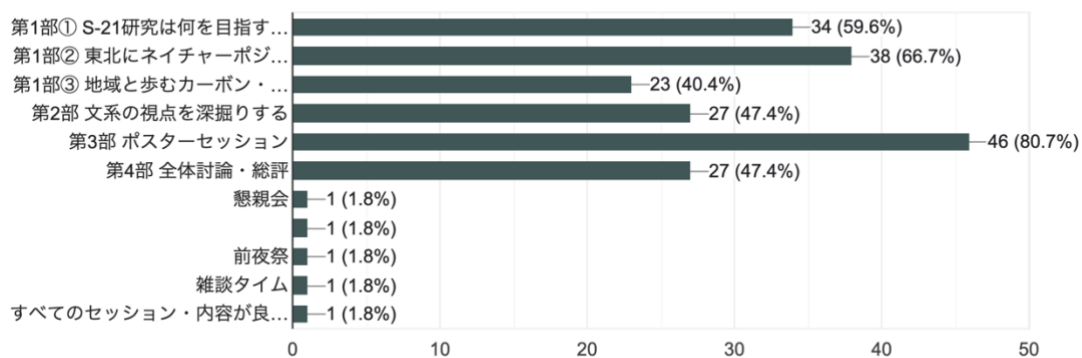
- ・ どのような問題があるか情報共有するため"つなぐ"という意味では有効に思いますが、問題解決に向けた最終的なアプローチはほとんど示されず、個人的には中途半端(散漫)な印象を受けた点が-1です。
- ・ 南三陸町を色々な視点で捉え、学術的でありながら分かりやすく議論されていて楽しかったです。
- ・ ある地域を舞台に、理系も文系も住民も一緒になって持続可能な社会の作り方を考える、とてもユニークな学会で刺激的だったので。双方向で話す機会も多く、普段と異なる方々と話したことで新たな学びをたくさん得られました。
- ・ 自分の研究に関連する研究者や、普段話す機会のない分野に詳しい方々と交流ができたこと、南三陸町の現状について地元の方々からお話しがあったこと。リアルな話し合いが行われていたこと、それに参加できたこと。
- ・ 市民参加型学会運営に関する点及びゆるさ
- ・ 現在進行形で行われていることが、共有されたところ。交流があったところ。ネイチャーポジティブなど、最新の情報が共有されたところ。
- ・ 学際的な交流、意見交換が行われたものの、昨年と比較して町内在住者の割合が低下していたと思われるため。
- ・ 地元の財団法人が主催する学会というのが良かったです。研究と実践を地に足つけてつなげる組織があることが羨ましい。
- ・ 南三陸に心を寄せる方々がテーマを持ち寄るという学会のスタンスが素晴らしい。
- ・ 様々な分野の充実した話ばかりで、内容は非常に満足しました。ただ、後方の席だったこともあり、文字が小さくて見にくいスライドが多く残念でした。
- ・ 産官学の多様な参加者による会だから。主催者のホスピタリティが素晴らしいから。
- ・ 全体的には大満足なのですが、若い人たち（高校生や中学生（は早すぎるかもですが））も参加してくれるともっと面白くなったのではと思いました。
- ・ 他地域からなにがしかの研究成果や知見をもたらさない限り、学会に参加する価値がない（申し訳ない）という印象を受けた。
- ・ 大学、研究者、地元住民、企業などが一堂に介していのちめぐるをテーマにした学会で、皆さんがすごい熱量でした。
- ・ 内容が充実していた。一般の方が参加するものとしてはレベルが高かった。
- ・ 色々な分野の方と交流ができたこと
- ・ 学会が終わってから、いまだにあそこで議論されたことについてふと思い出して、考えることがあります。話を聞いて理解して終わらず、むしろ問いがいくつも生まれて自分の中にモヤモヤ感が溜まった状態になっていて、いま時間をかけて消化しています。そのような場を提供して頂けたことがよかったのかなと思います、満足しています。 マイナス1にしたのは、今回の話者のテーマが大括りの内容が多く、現場サイドの内容が薄く感じられました。理屈は分かるけど、現場に落

とし込むとこんな課題が出てきますよね？ぐらいのもう少し課題の粒度を細かく設定できると具体と抽象のバランスが良くなったかなと思います。最後の議論で挙げた「研究者の話が、わかりにくい」という意見もそう言った思いから発せられたのかなと。

- ・自分が普段話をしている方と対面で会えた。さまざまな方の取り組みの内容が聞けたし、人柄がわかるようにオープンに付き合うような方々ばかりで温かい気持ちになれた。

第2回大会の中で良かったと思うセッション・内容をあげてください。(いくつでも)

57件の回答



Q.前問で良かったと思った理由や、特に印象に残った点などあればお書き下さい。

A.

- ・地元高知県でも、人口問題が入り口中の入り口だと思った。
- ・藤山先生のシミュレーション分析
- ・「森里海ひと いのちめぐるまち南三陸」という総合戦略のこの文言は守っていかねばならないと、複数のタイミングで強く感じました。
- ・このようなイベントでなければ出会えなかった方々と意見交換ができたこと
- ・総合討論
- ・南三陸町内での様々な取り組みを知れておもしろかった
- ・様々な分野の研究や活動が知ることができた
- ・全体討論・総評における自由な意見、専門家と地元の方との対話等。
- ・本物の化石を置いてくれていて嬉しかった。
- ・地域課題または目標値の数値化・可視化
- ・藤山先生の南三陸（特に入谷）に落とし込んだ説明がとても分かりやすかったし、その後の議論にも研究者から地元へバトンが渡されたような気がしてこの場の意義を感じました。
- ・S21の取り組みはとても面白いと思いました。生物多様性やネイチャーポジティブについて考えるいい機会にもなりました。
- ・人口問題、めぐる環境と社会

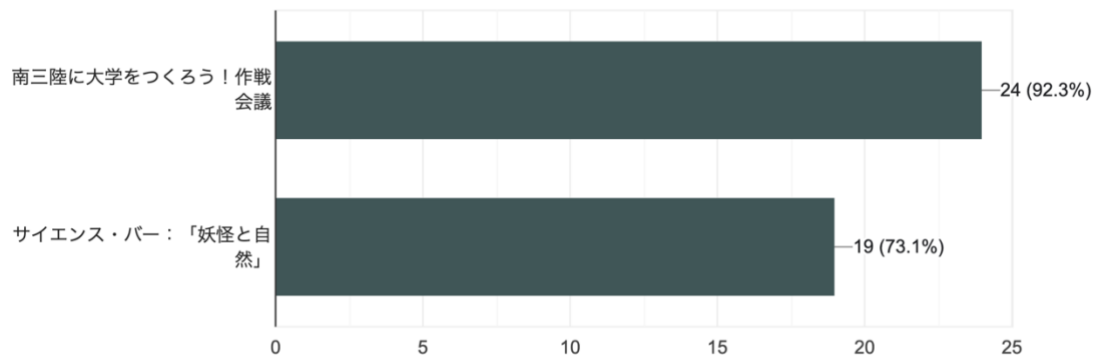
- ・近藤先生の講演は研究者以外にも分かり易く興味が持てる講演だったと思います。
- ・地元の方からの生の声も研究者の視点(理系文系ともに)からも、新しく知ることも多くとても勉強になりました。また、参加者との対話で自分には無い視点や自分の意見を受け入れてくださる方が多くとても気持ちの良い場でした。改めてこれからの南三陸について考える機会になり、今度も今回の繋がりを活かしながら、自分でもできることを発信しながら参加していきたいです。
- ・研究者と現場をいかに繋ぐか、どのように係わるか。
- ・短い時間で様々な研究調査のアクティビティがあることを知ることができました。
- ・南三陸という地域の自然や人に関わる多角的な視点の現状や、地域社会を持続するためにどのような処方がありうるかというシミュレーション。かなり深刻なネガティブ状況を突きつけられつつも、もしかしたらがんばればどうにかできるかもという希望も同時に持つことができました。ポスターセッションでも、南三陸の具体的なデータを知ることができたことは今後のまちづくりを考える上での私たちの視野を広げることにつながったと思います。話し合いタイムもはさむファシリもとても良かったです。
- ・農業を維持して行くために具体的な新規就農者がどのくらい必要かなど、とても貴重なお話でした。
- ・多様なポスターで情報が多かった。
- ・第一部は研究として明確、ポスターセッションはすごく盛況で驚きました(人が多く発表を聞いたり、質問ができないうらい)。
- ・ポスターセッション・全体討論・総評に参加できかねた事が悔やまれます。
- ・話す内容は多彩ながらも、どれも互いにリンクできる点があり、どれか良いものを選ぶのが難しかったです…。強いてひとつあげると、近藤先生や全体討論における、住民サイドからの「理屈よりも解決策を」という話は、この学会の特異性がよく現れてると同時に、自らの研究者としての責務を改めて自覚させられた点で印象に残りました。
- ・ポスターセッションで議論ができたこと。
- ・市民（現場）と学者の対話
- ・もちろん各セッションにおける発表も重要であったが、やはり研究者に限らない様々な参加者が入り乱れた交流が本学会の特長であると考えため。
- ・どんな質問も受け入れられる空気感が良かったです。皆さん交流に活発なのが印象的でした、全体的な雰囲気もすごく良かったです。
- ・今回は第2部文系しか参加できなかったのですが、とても雰囲気が良かったです。
- ・全体討論で、南三陸町にお住まいの方々と研究者が意見を交わしていたのが印象的でした。先生方の研究を身近に感じました。

- すべてのセッション・内容が良かったのですが、特に各セッションで設けられた雑談タイムは話が盛り上がりました。
- さまざまな人の活動がわかった。地元の方の生の声が聞けた。その言葉はとても力強く、傾聴すべきものと強く感じた。
- 全てにおいて参加者のコメントがネガティブにならずに前向きだった。全体の雰囲気明るく発言しやすかった。合間の雑談が良かった（通常の学会には無い）。
- 南三陸町で取り組んでいるたくさんのプロジェクトの中身を知ることができた
- 特に印象的だったのは大震災を外からの視点で捉えた論考は、新鮮な切り口でハッとさせられました。また、近藤さんのネイチャーポジティブの話は、そこを目指すための手順について理解しやすく、環境 DNA の可能性を感じられる内容でした。
- それぞれの内容で記憶に残るものがあるし、取り組みの意欲が伝わってきた。

○前夜祭について

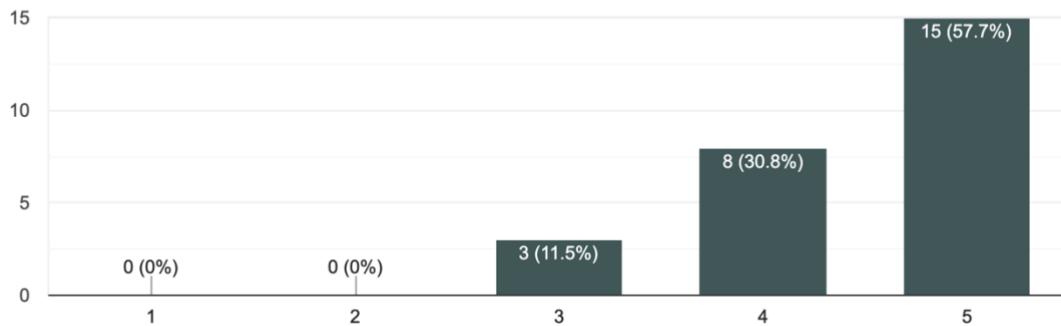
前夜祭（11月22日）に参加された方は、参加したセッションを教えてください。

26件の回答



前夜祭の満足度はどのくらいですか？（5段階評価）

26件の回答



Q.前夜祭の満足度の理由や感想など、自由にお書き下さい

A.

- ・豊岡の元市長からの直接のお話は、有難く勉強になりました。「いのちめぐる」中での人の精神面に迫る妖怪の話も、学会のテーマの核心に迫るもので、なるほどと思いました。
- ・なんなら当日より楽しいくらい良かった！豊岡の事例の背景を知ることが出来て、いろいろ情報整理になった。
- ・何より、中貝さんの大学も含めたまちづくり構想、将来像は厚みがあると感じた。だからこそ全員が同じ方向を向いていなくても、そこは信念の世界になってしまうのかもしれませんが、魅力あるその流れに更に魅力ある人が寄って来たのだと感じました。そもそも大学設立が地域のゴール、ということでなければ、例えば主に大学生を対象としたサマースクールとか短期的な取組みで実績を重ねる、というのはどうかなとも思いました。もう少し感想含めじっくりお話ししたいので、また改めてよろしく願います。
- ・中貝先生のお話もとても良かったですし、その後の意見交換も有意義でしたが、あえて4なのはグループ意見交換の時間が足りなくて全然話し切れなかったのが残念だったところです。
- ・怖い妖怪がキャラクター化していること。
- ・中貝先生の講演は大変活力があり興味深く、今後の地方再生のケーススタディーの一つとして、メディアを通じて広く認知されるべき講演であると思います。
- ・前夜祭に多様性の話があったからなのか、参加している方がお互いを認めあって理解し合おうとする雰囲気があったように思います。妖怪の話も楽しかったです、笑いも必要ですね。太一さんの幅の広さに脱帽です。
- ・何となく進め方が少しずつ理解した。
- ・もっとお互いにも話せる機会があると尚良かった。

- ・中貝さんのお話は以前からとてもお聞きしたいと思っていたので、実際にお話を聞くことができよかったです。また講演の内容も示唆に富んだ素晴らしいものでした。「ケンムン」やオカルトの話も、自然と人がどう関わるのが大切なのかを深く考えさせる奥深い内容でした。
- ・妖怪と自然を結びつけた考え方が面白かった。
- ・ユニークな企画であった点
- ・二つのテーマはいらなかったかもしれません。1つを深掘りのほうが。
- ・大学の必要性を改めて感じた。実現の可能性についても、イメージが拡がり、さらなるアクションに繋げていこうと思いました。
- ・時間の関係上難しいと思いましたが最後のグループディスカッションを2周、3周ぐらいするとさらに大学構想の話し合いが濃くなった感じがしました。
- ・大学作戦会議の中貝さんの話、筋道が通っていてその中身、なぜそうなっていったかがわかり、かつ、動きによってもたらされた効果がたいへんよいなというものであったから。また、サイエンスバーは、期待をそんなにしていなかったが、全く逆で、人がこんなに盛り上がる内容があって、その切り口が勉強になった。また、あんなに準備してくれている環境省の釧路の方、それも大感謝だなと思った。

○大会運営・学会運営について

Q. 今回の大会の運営について、良かったところ、また、逆に改善点や不満に思ったところがあればお聞かせ下さい。

A.

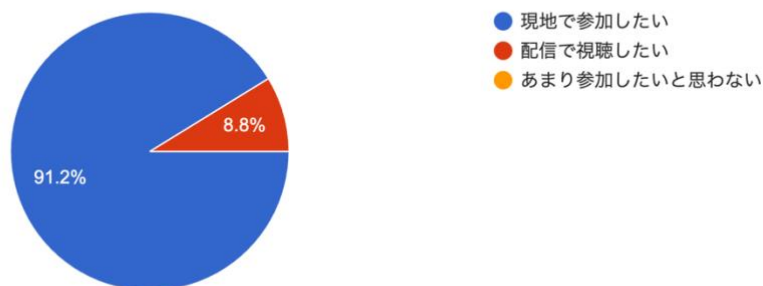
- ・また、参加したいです。
- ・参加者同士で意見交換する時間があったので、自分の思考の整理や様々な視点の話が出来て良かった
- ・天気が良くてあったかくて良かった！タイムキープ大変だったと思いますが不満はありません。おつかれさまでした。
- ・会場のまとめの際にも出ていましたが、開催日程をずらして南三陸高校の学生も参加できるようにするともっと良いと思いました！
- ・特にございません。運営お疲れ様でした。
- ・懇親会含め、最高でした！
- ・高校生や大学生など、若い子たちにも、この素晴らしい雰囲気味わって欲しい。それから、参加者全員のリストが欲しい。
- ・事務局の皆様のきめ細やかな運営に感謝いたします。ありがとうございました。

- ・不満はないのですが、会場の酸素、薄かったですね（笑）ポスターセッションの時間も、入れ替わりができず（質問などお話が途絶えず）話しっぱなしだったので終盤苦しくなりました(^_^;)大盛況の証でもあると思いますが、思い当たるのはそこだけです～。運営の皆様お疲れ様でした！
- ・本物の研究者と交流できて良かった。
- ・前夜祭のみの参加でしたが、立食形式にしないとコミュニケーションは取りにくいと思います。
- ・人数があれだけいるなかで、スムーズな進行、会場設営や食事などの準備、大変だったと想像します。不便を感じずに過ごすことができました、本当にありがとうございました。懇親会があったのも、参加者同士がつながりあい、お互いを知れたのはとても有意義だったと思います。最後の回にもありましたが、高校生が参加していなかったのは残念でした。年に一度の大きい大会だけでなく、また小さくてもイベントなどありましたら参加したいです。
- ・概してよかった。
- ・全体を通して不満はほとんどないです。思いつかない。とても満足しました。
- ・これだけの人材を集められて、南三陸にフォーカスした研究成果やデータを共有できたことは本当にすごいことだと思います。心から太齋さんや事務局のみなさんに敬意を表したいですし感謝申し上げます。この発表内容を町民のみなさんに広くお知らせできる方法がないものかと思います。子どもたちへのアウトリーチ活動で、彼らがこのようなデータを知っていくことが町の未来を変えれると思います。
- ・靴の着脱が面倒でした。
- ・中静先生もおっしゃっていましたが、より若い方との交流の機会があるとなお良いと思いました。
- ・高校生にもぜひ参加してもらいたい
- ・総評でありましたが、確かに高校生の参加は必要なように思いました。
- ・確かに高校生が参加できると、さらに良かったと思います。
- ・あれだけの人数が集まるのであれば、もう少し広い会場でできると良いのではないのでしょうか。ポスターの時間が倍あってもいいと思いました。
- ・駐車場が充分用意されていたこと、ゴミの分別をされていたこと、発表の時間コントロール等は大変良かった。スライドの画像が後ろからは見えなかったのではと危惧されました。素晴らしい運営だったと思います。ありがとうございました。
- ・一方的な発表で終わらず、議論の時間が多く確保されていて、分野や立場を超えて活発な交流が行われてた点がとても良かったと思います。ひとつ気になった点として、次回は工学系の研究者をもっと呼び込めればいいなと思いました。工学技術を取り入れれば、解決策のアプローチがもっと広がるかもしれません（農学×工学のスマート農業など）。

- ・ポスターセッションの時間が短かったため、発表していた自分は他のポスター発表を見る時間があまりなかった。グループ A と B の時間の切り替わりがより明確にアナウンスされていれば、時間配分がしやすかったと感じた。
- ・宿泊先から会場への移動に関してもスムーズであり全体としては満足している。雑談タイムに関しては、もう少し工夫が必要かと感じた。
- ・色々な人と話をする機会があってよかった。ポスターは時間が足りなかった。
- ・皆さんの雰囲気がとても良かった。活気を感じられました。学会にアカデミアと現地が有機的に協力し合っている関係が見て取れて理想的だなと思っています。
- ・次回はフル参加したいです。
- ・プログラムの項目も参加者も多かったのに、とてもスムーズに運営されていて、充実した学びの時間をいただきました。ただ、もう少し会場に余裕があれば、より快適だったと感じました。
- ・参加者が多かったので、やや会場が狭かった。コーヒー、美味しかったです。ありがとうございます。
- ・盛り込みすぎで、地域の人と、研究者の意見交換が少ない。中高生がいなかった。彼らとの意見交換も目的の一つだったので、ショックが大きかった。
- ・障害者自立支援施設による振る舞いが良かった。クッキーなどの販売もあると良かった。お弁当も美味しかった。ポスター発表の1分仕切りが良かった。
- ・各発表に対してモデレーターをつけると、難しい内容でも参加者の理解が進み、議論すべき論点が整理されてよいのかなと思いました。抽象的な話に終始してしまうので、研究者と現場の共通言語を持った妖怪的人間のモデレーターが必要かと。
- ・良すぎて思いつかない。あえていうなら、いりやどのごはんがたんぱく質盛りだくさんでもう少し抑えめでいいなと思う。(残ってしまうか、食べすぎるなってしまったなど) 人によって食べたい量も違うから、ビュッフェにするとかな。

次に南三陸で同様のイベントがあれば参加したいと思いますか？

57件の回答



Q. 今後のいのちめぐるまち学会大会や取り上げて欲しい内容や、学会主催で開催したい（して欲しい）研修会、活動等があればお書き下さい。

A.

- ・今回の続編
- ・サケはどうしたら戻ってくるのか
- ・参加者同士でお話し合いや意見交換ができる場がもっと欲しいです。高校生や次世代との交流も希望したいです！
- ・似た環境や現状の、他の市町との共催などで、共通部分と特異な部分をもっと知りたい
- ・カーボン関連に大変興味をもっております。
- ・大学構想
- ・放置山林のこと
- ・学会を踏まえて現地側が考えたことをまた地元から発表するとかも面白いかなと思いました！
- ・南三陸の振興につながりそうなものは、なんでもやりましょう！
- ・サイト見学→勉強会 のようなものがあると良いかと思います。現場を見てからテーブルを囲み、見てきたものについて意見交換するという方法が学びを深めるために効果的と思うためです。
- ・私は S21 ではカキの養殖モデルを担当しておりますので、カキに関する生態学的な性質、養殖に関する技術やビジネス的な課題などについて掘り下げる講演や研修会等を期待します。
- ・地元の団体、個人が研究者に望むことの意見、発表の場。
- ・宮城大学の学生のより多くの参加を促したいと思います。
- ・S21 等の研究からわかった知見をもとにした、アイデア出しや地域の今後を考えるワークショップ。
- ・S21 等、研究の成果を踏まえたアイデア出しや、もっと知りたいことを話し合うワークショップ。
- ・企画力に敬服しており特にありません。
- ・地域の歴史の変遷なども議論の対象にしたいですね。
- ・学生や若手研究者が、実際に地域の当事者ととともに課題解決を目指す経験を積むようなプログラムがあるといいのでは、と思いました。気候変動問題の進み具合を考えると、本学会のような取り組みを早く他地域へも横展開するのが望ましいと思う一方、なかなか実際の地域の人とつながるチャンスがない研究者（特に経歴が浅くて裁量の少ない若手）もいるのでは？とも感じます。横展開に向けた担い手を育成するために、アカデミアとの結びつきが既に強い南三陸の特性を活かして何か研究者への教育プログラムを提供できると面白いかもしれません。

- ・統計データシュミレーションの研究話が多く、もっと、現地の風習や過去の歴史、埋もれている秘話など「質的な研究者」へ参考になる情報を学会へ盛り込んでほしい。
- ・高校の発表。大学構想、地元事業者のオーラル発表
- ・雑談の時間があるのは良かったが、それぞれの時間が短くてもっと話を深められたら良かったと思った。なので、今度は雑談からもう一步踏み込んだ、グループごとのワークショップにまで発展できたら良いのになぁと思いました。
- ・持続可能なかたちでの規模もちょうど良いのではないかと思いました。
- ・防災、教育、ジェンダー、
- ・口頭発表とポスターを1日で開催するには十分すぎる内容です。
- ・やはり、現場で実践している人の話はひとつでもいいので入れて欲しいです。
- ・別の場所でもやって欲しい。

Q. 南三陸いのちめぐるまち学会に対するご意見・ご感想など、何でもご自由にお書きください。

A.

- ・素晴らしく前向きで感動しました。
- ・本日はありがとうございました。ぜひ今後も継続的に開催していただきたいです。
- ・おつかれさまでした！
- ・研究者は、地元の方々に説明するときには、カタカナや横文字を禁止した方がいいかな(自戒
- ・130名規模の運営ありがとうございました。来年も宜しくお願い致します。
- ・発言した人が次の人を指名するとか、さらにたくさんの方が発言できる仕掛けがあると楽しいかも。来た人みんな何かしらネタを持っている面白い方々という感じだったので。
- ・とにかく大変お疲れ様でした！
- ・賛同してますので、頑張ってください^^
- ・南三陸という場所においてあれだけ大きなイベントを企画し、実行にご尽力いただいた実行委員及びスタッフの皆様方に厚く御礼申し上げます。特に、スタッフの皆様笑顔の対応に大変救われましたことを心より感謝いたします。
- ・役場関係者の参加が少ないのが気になりました。(町長は来てましたが)やるのであれば、官の理解や参画が必要になると思います。いろんな事情があるとは思いますが、南三陸全体で盛り上げていきたいですね。(えらそうにすみません)ありがとうございましたー！

- ・いのちめぐる町と言うのは、どの大学でも地域でも関心がある事にとっても良い反響なので、何の力にもならないですが、事有るごとに参加したいと思います。昨日野菜の収穫体験に来た方が、横浜の木島さん夫妻でこれから町学会に参加するので忙しい降りをしてごめんなさいと話したら、その学会に2年くらい前に参加したと話、太齋さんの事もいっぱい知ってました。先日木内さんを講師に、縄文の食に付いて勉強しましたって話したら、木内さんと交流があるかたで、ビックリして鳥肌が立つくらいです。その話でも盛り上がりました。
- ・運営ご苦労様でした。
- ・開催準備にあたられた皆様、当日の対応に当たられた皆様、大変お疲れ様でした。
- ・本当に楽しい二日間でした。ありがとうございました！ぜひ来年もまた、開催していただきたいです！
- ・これからも継続して頂けたら、大変嬉しいです。
- ・素晴らしい取り組みです。もはや、普通の学会より、こちらの方が楽しく有意義です。
- ・もはや、普通の学会より、こちらの方が楽しいです。来年は是非南三陸高校にて、高校コラボ企画として開催してもよいのかも、と思いました。是非ご検討ください。
- ・多様性と持続性を引き続き維持してください(仲良しクラブは×)。
- ・第1回は高校生の参加があったが、今回は見かけなかった事が残念でした。
- ・とにかく楽しかったです。また参加したいと思ったので、ありがとうございました。
- ・少ししか参加できなかったものの、すごく色濃い時間を過ごすことができました。南三陸について知れたことも沢山あり、是非次回の学会も参加したいと思います。
- ・素晴らしい企画をありがとうございます。個人的には春先か夏のシーズンがいいかなと思います。
- ・当日聞けなかった講演の内容や様子は、何か記録に残すのでしょうか。配信等あれば知りたいです。第3回を楽しみにいたします。ありがとうございました。
- ・良かった点 * 沢山の研究者が集まる場所となるのは、たいへんめでたい。また、沢山のプロジェクトが走り出すのもめでたい。 * 他の地域とどう違うかという視点が盛り込まれたこと。
困った点 * 今回、入谷地区に話題が集中したこと——その他の地域に拠点がないのかもしれないが。それはそれで残念。 * 森について話題が少なかった。 * 地元の人々の考えがあまり聞けなかった。また農作物については、学者の考える対策はすでにとっているか、意味がないという話もでていた。研究者の自由な発想での研究を聞く一方、地元の困ったことを研究者と考える、解決するという場も必要か。 * 話柄を減らして、会場とのディスカッションを多くする？ * 研究発表

をしない、別の目的で来る学生には身の置き所がない場所になった。 *来年度の日程が決まっていないこと。できれば、閉会時に、次の日程を知りたい。

以上です。アンケートへのご協力、大変ありがとうございました！